

施策評価調書

| | | | | |
|------|-----------|--------------------|----------------|-------------|
| 施策名 | 5-2-2 | 学びの場の提供と担い手への側面的支援 | | 施策を取り巻く環境変化 |
| | | 地域経営計画(後期計画) 該当ページ | P. 68 | |
| 担当部課 | 教育部 生涯学習課 | 担当 リーダー | 社会教育担当 横塚恵子 | |

1. 住民意識調査結果

| 21年度(10月実施) | | 25年度(※実施予定) | | 26年度(※実施予定) | |
|-------------|-------------------------------------|-------------|----------|-------------|----------|
| 満足度 | 3.7% 第17位/全36項目(社会教育・生涯学習環境の充実) | 満足度 | 第 位/全 施策 | 満足度 | 第 位/全 施策 |
| 優先度 | 53.3% 第18位/全36項目(社会教育・生涯学習環境の充実) | 優先度 | 第 位/全 施策 | 優先度 | 第 位/全 施策 |

満足度:「満足である」、「どちらかと言えば満足である」を合計した割合から、「どちらかと言えば不満である」、「不満である」を合計した割合を差し引いたもの

優先度:「優先すべき」、「やや優先すべき」を合計した割合から、「あまり優先しなくてよい」、「優先しなくてよい」を合計した割合を差し引いたもの

2. 施策の目標

| 指標 | 基準値 | 年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|--|--|-----|------------|----------|----------|----------|----------|
| (成人を対象とした学習機会の充実、家庭教育学習支援、読書活動推進、ボランティア活動推進) | | | | | | | |
| 指標1:町主体で開催している教室・講座の数:(講座) | 22年度実績 10講座 | 計 画 | 10講座 | 11講座 | 12講座 | 13講座 | 15講座 |
| | | 実 績 | → 10講座 | | | | |
| 指標2:図書館の利用者数:(人) | 100,183人 | 計 画 | 103,200人 | 104,700人 | 106,200人 | 107,800人 | 109,400人 |
| | | 実 績 | ↑ 112,962人 | | | | |
| 指標3:図書館の年間貸出冊数:(冊) | 409,579冊 | 計 画 | 434,400冊 | 447,400冊 | 460,800冊 | 474,600冊 | 488,800冊 |
| | | 実 績 | ↑ 538,182冊 | | | | |
| 指標4: | | 計 画 | | | | | |
| | | 実 績 | | | | | |
| 指標5: | | 計 画 | | | | | |
| | | 実 績 | | | | | |
| 指標に関する特記事項 | ○図書館の利用者数、年間貸出冊数は、過去の増加率の平均値をもとに目標を設定しました。 | | | | | | |

進捗状況の区分 ↑:目標以上の成果があった →:目標どおりの成果があった ↓:目標に至らなかった △:遅延・未着手等 ×:見直し・廃止等

3. 施策に係る経費

| 事業費(傘下事務事業費計)の推移【単位:千円】 (※総事業費) | 年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|------------------------------------|-----|---------|---------|---------|------|------|
| | | 当 初 | 117,123 | 116,786 | | |
| | 決 算 | 115,847 | | | | |

4. 施策傘下事務事業 ※別紙のとおり

5. 施策評価

| | | 後期計画における施策展開のビジョン | H25年度の狙い |
|----------|---|--|---|
| 自己評価(部) | H23 事後 評価 | 学びの場については、様々な学習・体験機会の提供に努めました。生涯学習の場とする図書館においては、町と連携した様々な取り組みを行いました。参加者からは大変好評を得ました。(読書感想文教室・町の風習や伝統文化の開催など) | <ul style="list-style-type: none"> ・図書館については、24年度指定管理期間満了に伴い、現在の図書館流通センターが継続し指定管理者となりましたので、図書館基本方針を継承し、さらに読書活動の推進や行政と連携をとりながら住民サービスの向上につなげてまいります。特に、読書活動は児童生徒により読書に親しむ機会を充実させることと、読書の大切さについて、学校、図書館、町と連携した事業の実施に伴う連絡会の開催など読書率の向上に努めます。 ・家庭の教育力の低下が叫ばれている現在、ボランティアで活動している親学習プログラム研修生による家庭教育学習会を通じて、保護者向けに子どもに対して社会生活に必要な習慣を身につけさせるとともに、自立心の向上や心身の調和のとれた発達を促すような意識を高めていきます。 また青少年が集団の中で自己を見つめ、連帯感や多様な価値観を身につけるうえで、青少年関係団体やNPOの活動が果たす役割は大きいものがあると思うので、そうした青少年活動の団体やNPOなどへの側面的支援を行ってまいります。 |
| | H25 事前 評価 | 様々な学習機会の場を提供することは、生涯学習の役割のひとつとしてこれを継続してまいります。図書館については、地域利用者の意向にそった3館の独自性を打ち出した運営を組み込んでまいります。 | |
| 総合評価(町長) | 総合評価 | | 施策傘下事務事業に係る個別指摘事項 |
| | 継続的に、学びの場の提供が実施されていると評価する。図書館にあっては、今後も民の力を活用した独自の事業展開を期待するので、行政としても、指定管理者との連携を密に、必要な側面的支援を行っていくこと。また、今日の厳しい財政状況を考慮のうえ、今後の施策展開にあっては、所管部署としても、事業執行と財源確保のバランスを十分に検討されたい。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・全て「継続事業」とする。 ・団体運営費補助にあっては、引き続き団体との協議を密にし、適切な役割分担、良好な協力関係を構築されたい。 |